SONY®

3-076-013-**01** (1)

Bluetooth™ 機能搭載 モデムアダプター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Bluetooth™

BTA-NWP

⚠警告 安全のために

BTA-NWPは安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5～10ページの注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

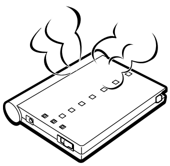
1年に1度は、ACパワーアダプターを故障したまま使用していないか、点検してください。

故障したら使わない

本体やACパワーアダプターなどの動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターまでご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **変な音・においがしたら**
- **煙が出たら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したら**



➊ **電源を切る**

➋ **ACパワーアダプターをはずす**

➌ **テクニカルインフォメーションセンターに連絡する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



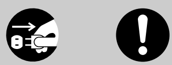
火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止　接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く　指示

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
また本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名 ：Bluetooth機能搭載モデムアダプター本体　BTA-NWP
ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること
- 本製品の底面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

商標について

- BLUETOOTHトレードマークは、商標権利者が所有しており、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークはすべてについては明記していません。

周波数について

本製品は2.4 GHz帯の2.400 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器の使用上の注意

この機器の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、テクニカルインフォメーションセンターまでお問い合わせください。テクニカルインフォメーションセンターについては、この取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2. 4 FH 3

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は30 m以下です。

目次

はじめに

- 本機と通信することにより、Bluetooth（Ver.1.1）機能搭載機器をPHSデータカードやモデムカード経由でインターネットに接続し、データの送受信ができます。
- 本機は、ダイヤルアップネットワークに対応した機器です。
- アルカリ単3形乾電池を使用することにより、モバイル機器として使用することができます。

Bluetooth無線技術について

Bluetooth無線技術とは、パソコンとその周辺機器、携帯情報端末（PDA）、携帯電話など、さまざまな機器同士を無線で接続し、相互の通信を可能にする技術の名称です。
全方向性通信を行うため、Bluetooth機能搭載機器がカバンの中にあったり、機器間に多少の障害物があっても通信が可能です。

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

分解禁止

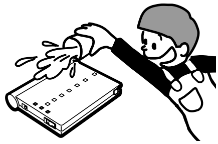
火災や感電の原因となります。危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。
内部の点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。



内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
この製品は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、バッテリーを取り出してください。ACパワーアダプターもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。



本機は日本国内専用です

指示

海外で使用すると、故障・火災・感電の原因となります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離して使用する

指示

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは本機を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

航空機内では本機を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本機を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

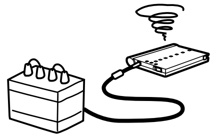
上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

指定以外の乾電池、ACパワーアダプターを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

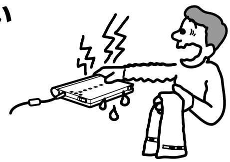
禁止



ぬれた手で本機やACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

禁止



長期間使用しないときは、電源をはずす

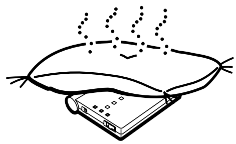
長期間使用しないときはACパワーアダプターや乾電池をはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

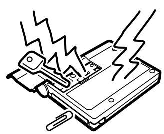
禁止



乾電池の挿入口や端子などから、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない

火災・感電の原因となります。

禁止

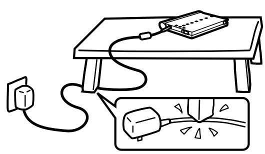


ACパワーアダプターの出力コードを傷つけない

ACパワーアダプターの出力コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。

禁止

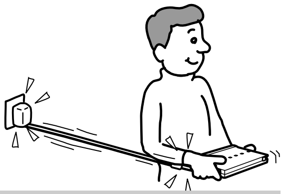


⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

移動させるときは、ACパワーアダプターを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。





落雷のおそれがあるときは、ACパワーアダプターを抜く

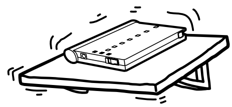
落雷のおそれがあるときは、ACパワーアダプターを抜いてください。落雷により本機が破壊され、故障の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたりすると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

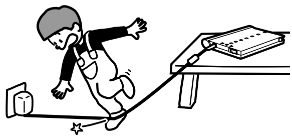




コード類は正しく配置する

ACパワーアダプターの出力コードは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

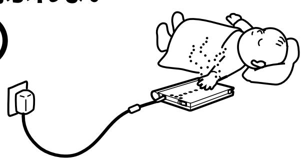




通電中の本機やACパワーアダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。





乾電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

乾電池から液が漏れたら

- すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。
- 目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠警告

- 指定された種類の電池を使用する。
- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。
- 乾電池は充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。

使用上のご注意

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでは
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になることがあります。

使用について

- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わない
- TVやラジオのチューナーの近くで使わない
  TVやラジオのチューナーの雑音が入ることがあります。
- ACパワーアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しない
  発熱や故障の原因となります。
- 本機では、推奨の対応PHSデータカード、または推奨の対応モデムカードのみをご使用ください。

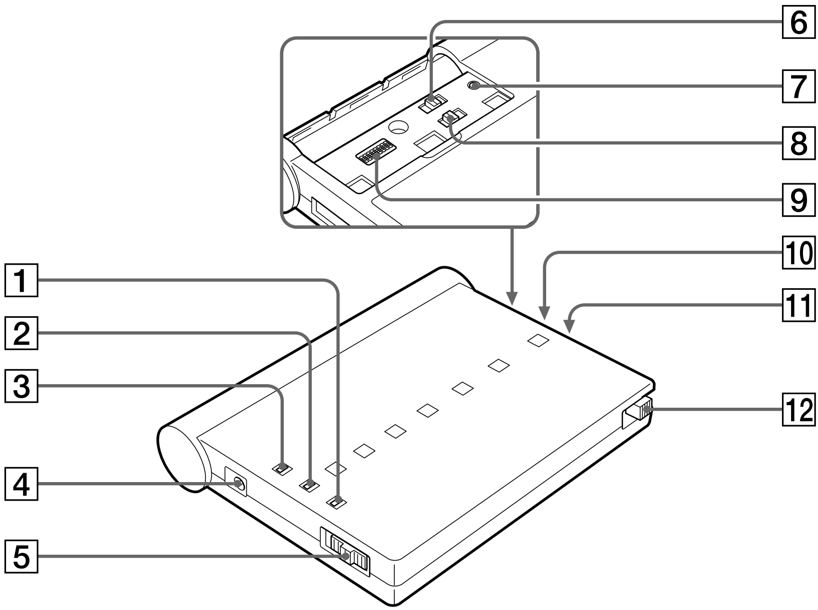
単3形乾電池について

- 本機を使用した直後は、乾電池が熱くなっている場合があります。温度が下がるのを待ってから取り出してください。
- 本機を長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池を交換するときは、必ず2個同時に交換してください。新しいものと古いもの、また異なったタイプの乾電池を同時に使用しないでください。
- アルカリ単3形乾電池をご使用のときは、ソニー製アルカリ乾電池をお使いください。他の乾電池では、本機の性能が充分に発揮できない場合があります。
- 低温の環境で本機をご使用になる場合は、付属のACパワーアダプターをご使用ください。アルカリ乾電池は低温下では著しく電池性能が落ちるため、ご使用になれません。
- ニッケル水素電池、ニッカド電池、マンガン電池、一次リチウム電池はご使用になれません。

本体のお手入れ

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

各部のなまえ



1 POWERランプ（緑）
2 ON LINE ランプ（オレンジ）
3 ✻ ランプ（青）
4 DC IN端子
5 POWER ON/OFFスイッチ
6 TONE/PULSE10/PULSE20スイッチ
7 CLEARボタン

ご注意

電源が入った状態でこのボタンを押すと、登録したすべての内容が消去されます。

8 BONDING/NORMALスイッチ
9 AREA CODE（1〜8）スイッチ
10 バッテリーカバー
11 PHSデータカードおよびモデムカード挿入口
12 PHSデータカードおよびモデムカード取り出しスイッチ

本機を準備する

本機では、次のPHSデータカード（別売り）およびモデムカード（別売り）に対応しています。

- 対応PHSデータカード

  NTT Docomo P-in m@ster/P-in Comp@ct

  P-in m@sterおよびP-in Comp@ct使用時には、別売りのPCカードアダプターが必要です。

  詳しくは、PHSデータカードの取扱説明書をご覧ください。

  DDIポケット Air H” RH2000P/CFE-02

  （カードに付属のPCカードアダプターをご使用ください）

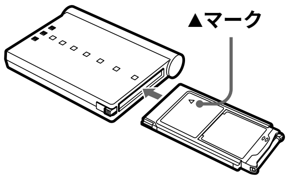
  PHSデータカードご使用時は、データ通信機能のみ動作します。

- 対応モデムカード

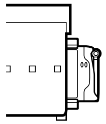
  ME5614CG2（オムロン社製）

ここでは、PHSデータカードをお使いになる場合について説明します。

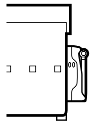
本機にPHSデータカード、またはモデムカードを取り付ける



挿入不充分



正しい挿入状態



PHSデータカードをPCカードアダプターに取り付けた後

PHSデータカードラベル面の▲マークを上にして、対応PHSデータカードを本機の奥まで確実に挿入する（詳しくは、PHSデータカードの取扱説明書をご覧ください）。

PHSデータカード、モデムカードを取り出すには

PHSデータカードおよびモデムカード取り出しスイッチを押し込む。

ご注意

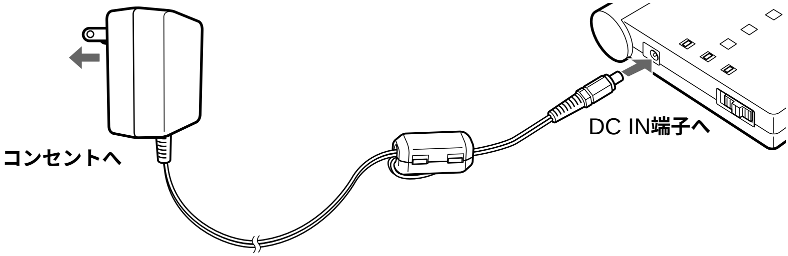
POWERランプが点灯または点滅しているときは、PHSデータカード、モデムカードを取り出さないでください。

電源を準備する

付属のACパワーアダプターまたはアルカリ乾電池が使えます。通常は付属のACパワーアダプターをお使いください。

■ 付属のACパワーアダプターで使う

ACパワーアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつないでください。

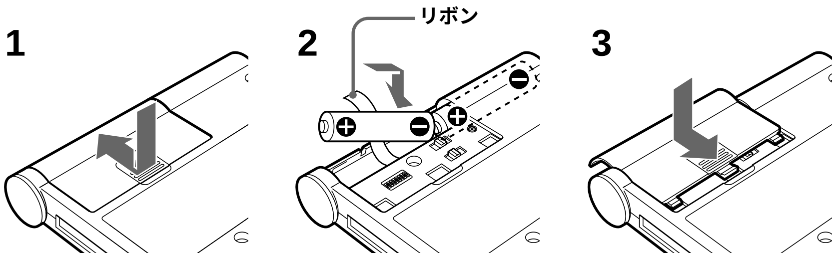


ご注意

ACパワーアダプターはコンセントの近くでお使いください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

■ 乾電池で使う

外出先などでご使用になるときに便利です。



1 **バッテリーカバーを矢印の方向にずらして取りはずす。**

2 **リボンが下になるようにして、アルカリ乾電池の⊕⊖の向きを正しくして入れる。**

3 **バッテリーカバーを取り付ける。**

ご注意

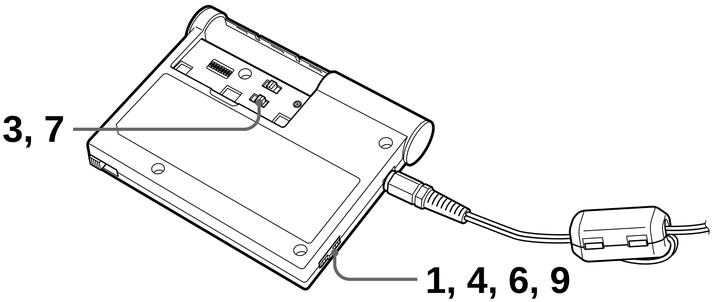
ソニーアルカリ単3形乾電池のご使用をおすすめします。

💡

乾電池を入れた状態でACパワーアダプターをご使用になると、電源はACパワーアダプターから供給されます。

Bluetooth機能搭載機器を登録する

本機では最大16台まで登録することができます。登録するときは、Bluetooth機能搭載機器の取扱説明書をご用意ください。17台目の機器は、16台目までのすべての登録を消去しないと登録できません。



1 **登録する前に、**POWER ON/OFF**スイッチが「**OFF**」になっていることを確認する。**

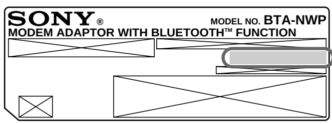
2 **バッテリーカバーを取りはずす。**

3 BONDING/NORMAL**スイッチを「**BONDING**」にする。**

4 POWER ON/OFF**スイッチを「**ON**」にして電源を入れる。**

5 **接続する**Bluetooth**機能搭載機器の電源を入れ、本機裏面のラベルに記載されている製造番号（パスキー）を入力する。**

入力については、接続するBluetooth機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。



パスキー
Bluetooth機能搭載機器に登録する番号

ちょっと一言

パスキーとは、2台のBluetooth機能搭載機器がお互いに接続を許可するために、ユーザーが入力する暗証番号のことです。「Bluetoothパスキー」、「Bluetooth Passkey」、「Passkey」、「Bluetooth PIN」、「PIN」などともいいます。

6 POWER ON/OFF**スイッチを「**OFF**」にして電源を切る。**

7 BONDING/NORMAL**スイッチを「**NORMAL**」にする。**

ご注意

「BONDING」のままご使用になると、通信内容が外部に漏れます。必ず「NORMAL」にしてご使用ください。

8 **バッテリーカバーを取り付ける。**

9 POWER ON/OFF**スイッチを「**ON**」にして電源を入れる。**

登録が完了します。

17台目の機器を登録するには

一度すべての登録を消去する必要があります。消去するには、電源を入れた状態で、ボールペンのような先のとがったものでバッテリーカバー内側のCLEARボタンを押します。本機の電源を切ってからもう1度電源を入れると、新しいBluetooth機能搭載機器を登録することができます。

ご注意

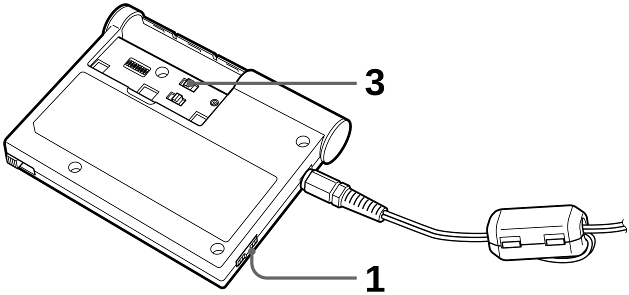
- Bluetooth機能搭載機器を登録するときは、本機の電源を入れる前に必ずBONDING/NORMALスイッチを「BONDING」にしてください。
- 本機に登録できるBluetooth機能搭載機器は16台までです。
- モデムカードご使用時、17台目を登録しようとすると、ランプとON LINEランプ、POWERランプが30秒間点滅します。
- PHSデータカードご使用時、17台目を登録しようとすると、ランプとPOWERランプが30秒間点滅します。ON LINEランプは点灯のままです。

本機を設定する

電話回線に接続するための設定をします。お使いの電話回線のダイヤル方法に合わせて本機の設定をしてください。

PHS**データカードをお使いになるときは、特に設定する必要はありません。**

モデムカードをお使いになるときの設定方法は次の通りです。



1 **設定する前に、**POWER ON/OFF**スイッチが「**OFF**」になっていることを確認する。**

2 **バッテリーカバーを取りはずす。**

3 TONE/PULSE10/PULSE20**スイッチでダイヤル方法を設定する。**

TONE：電話回線がトーン式ダイヤルのとき
PULSE10：電話回線がパルス式ダイヤルのとき
PULSE20：通常は使いません。詳しくは「パルス式ダイヤルのダイヤル速度を確認するには」（18ページ）をご覧ください。

- トーン式ダイヤルとは
  電話機のダイヤルボタンを押すと、「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方式です。
- パルス式ダイヤルとは
  ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方式です。

4 バッテリーカバーを取り付ける。

これで設定は完了です。

ご注意

- 通信するBluetooth機能搭載機器がトーン/パルス10/パルス20の設定を切り換えることができるときは、本機と同じ設定にしてください。設定が異なると、通信できないことがあります。
- 電話回線のダイヤル方法とTONE/PULSE10/PULSE20スイッチの設定が異なっていると、通信できません。
- パルス式ダイヤルのダイヤル速度が分からないときは、本機のTONE/PULSE10/PULSE20スイッチを「PULSE10」にしてください。

パルス式ダイヤルのダイヤル速度を確認するには

パルス式ダイヤルの電話機では、ダイヤル速度を切り換えることができるものもあります。電話機のダイヤル速度切り換えスイッチを切り換えてみて「カチカチ」という機械音が遅い方が通常の設定です。
ダイヤル速度を速い設定でお使いになるときは、本機のTONE/PULSE10/PULSE20スイッチを「PULSE20」にしてください。

AREA CODEスイッチについて

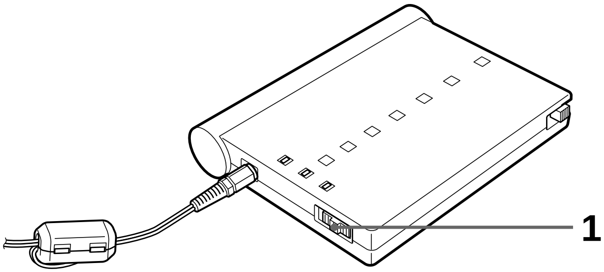
特に設定する必要はありません。

Bluetooth機能搭載機器と通信する

接続するBluetooth機能搭載機器を登録してから通信してください。

PHSデータカードをお使いになるときの通信方法

1 POWER ON/OFF**スイッチを「**ON**」にして、電源を入れる。**



次の各ランプが点灯します。

	POWER（緑）	ON LINE（オレンジ）	（青）
	●	●	—
	↓	↓	↓
Bluetooth通信可能状態	●	●	●

2 登録済みの Bluetooth**機能搭載機器の電源を入れ、通信を開始する。**

通信を開始する方法について、詳しくはBluetooth機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

通信中は、各ランプは点灯しています。

使用後は

本機のPOWER ON/OFFスイッチを「OFF」にして電源を切ってください。

PHSデータカードをご使用中の、データカード側のランプ表示について、詳しくは各カードの取扱説明書をご覧ください。

モデムカードをお使いになる場合の通信方法

1 **POWER ON/OFFスイッチを「ON」にして電源を入れる。**

ランプが以下のように点灯します。（●：点灯）

	POWER（緑）	ON LINE（オレンジ）	（青）
	●	—	—
	↓	↓	↓
Bluetooth通信可能状態	●	—	●

2 **登録済みのBluetooth機能搭載機器の電源を入れ、通信を開始する。**

通信を開始する方法について、詳しくはBluetooth機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

ランプが以下のように点灯または点滅します。（●：点灯、☼：点滅）

	POWER（緑）	ON LINE（オレンジ）	（青）
	●	—	●
	↓	↓	↓
電話回線ダイヤル中	●	☼	●
	↓	↓	↓
データ転送中	●	●	●
	↓	↓	↓
データ転送完了	●	—	●

使用後は

本機のPOWER ON/OFFスイッチを「OFF」にして電源を切ってください。

ご注意

- アルカリ乾電池を使って連続通信を行った場合、使用できる時間は約60分です。
- POWER ON/OFFスイッチが「ON」になっていると、通信していない場合でもアルカリ乾電池は消耗していきます。
- 長期間使用しない場合は、アルカリ乾電池を取りはずしてください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

電源

こんなときは	これが原因です	次の処置を行ってください
電源が入らない。	乾電池そのものの寿命。	新しい乾電池と交換してください。
	ACパワーアダプターがコンセントに正しく接続されていない。	コンセントに正しく接続してください。
乾電池の消耗が早い。	乾電池そのものの寿命。	新しい乾電池と交換してください。
	推奨以外の乾電池を使っている。	推奨の乾電池を使ってください。

ランプ ・・・ PHSデータカード、またはモデムカードをお使いのとき

（ ）内はモデムカード使用時です。

下記のランプが点滅するときは POWER（緑）ランプ	ON LINE（オレンジ）ランプ	Bluetooth（青）ランプ	これが原因です	次の処置を行ってください
☀ (☀	● —	☀ ☀)	乾電池が消耗している。	• 新しい乾電池と交換してください。 • ACパワーアダプターをご使用ください。
☀	☀	☀	PHSデータカードが挿入されていないまたは抜かれた。	PHSデータカードを正しく挿入して、電源を入れ直してください。
☀ (☀	● ☀	☀ ☀)	PHSデータカードまたは本体が故障している。	POWER ON/OFFスイッチを「OFF」にしてもう1度「ON」にしてください。それでも正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）へご相談ください。
☀* (☀*	● ☀*	☀* ☀*)	すでにBluetooth機能搭載機器を16台登録しているときに、登録されていない機器を接続しようとした。	新しい機器を登録する場合は、CLEARボタンを押してすべての登録を消去してから登録してください。

* 約30秒間点滅し、その後消灯する。

通信

こんなときは	これが原因です	次の処置を行ってください
通信できない。	PHSデータカード、モデムカードが正しく本体に挿入されていない。	正しく本機に挿入してください。詳しくは、「本機を準備する」(12ページ)をご覧ください。
	乾電池そのものの寿命。	新しい乾電池と交換してください。
モデムカード使用時、通信できない。	TONE/PULSE10/PULSE20スイッチの設定が間違っている。	正しく設定してください。詳しくは、「本機を設定する」(17ページ)をご覧ください。
Bluetooth機能搭載機器を登録時、探索結果に本機が表示されない。	BONDING/NORMALスイッチが「NORMAL」になっている。	BONDING/NORMALスイッチを「BONDING」にしてください。
	本機がすでに他の機器と通信している場合は、通信相手として表示されなかったり本機と通信できない場合があります。	他の機器と通信されていないかどうか確認してください。
本機とBluetooth機能搭載機器の距離が10 m以内なのに通信できない、または通信が途絶える。	本機と通信相手の機器間の障害物や電波状況などによって通信距離が10 m未満になることがある。	本機の設置場所を移動するか、通信機器の距離を近づけてください。
	本機がすでに他の機器と通信している場合は、通信相手として表示されなかったり本機と通信できない場合があります。	他の機器と通信していないかどうか確認してください。

仕様

ワイヤレス通信

通信方式
Bluetooth標準規格 Ver.1.1

最大通信速度 1) 2)
約723 kbps

出力 3)
Bluetooth標準規格 Power Class1

受信感度 3)
–70 dBm

通信距離 2)
見通し距離 約10 m（ソニー製のBluetooth機能搭載ネットワークハンディカムとの接続時）

対応Bluetoothプロファイル 4)
Generic Access Profile
Dial-up Networking Profile

使用周波数帯
2.4 GHz帯（2.400 GHz～2.4835 GHz）

ACパワーアダプター

電源電圧　AC 100 V、50/60 Hz
出力　DC 6 V、800 mA

一般

バッテリー駆動時間（動作時 5)）
約60分 6)

バッテリー駆動時間（待機時 7)）
約90分 6)

動作電圧
5.5 V～6.5 V（DC入力）またはソニーアルカリ単3形乾電池2本

消費電流（動作時）
P-in Comp@ct使用時（DC入力6 V時）
140 mA
RH2000P使用時（DC入力6 V時）
200 mA
ME5614CG2使用時（DC入力6 V時）
290 mA

最大外形寸法
約115×20×88 mm（幅／高さ／奥行き）

質量
約155 g（ソニーアルカリ単3形乾電池2本装着時）（PHSデータカードまたはモデムカードを含まず）

動作温度
0℃～40℃ 8)

保存温度
–20℃～60℃

使用可能国
日本

付属品

ACパワーアダプター（AC-PT1）（1） 9)
ソニーアルカリ単3形乾電池（2）
取扱説明書（1）
保証書（1）

1) Bluetooth標準規格 Ver.1.1の最大データ通信速度
2) 通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
3) アンテナの効率は含まれません。
4) Bluetooth機能搭載機器同士の使用目的に応じた仕様です。Bluetooth標準規格で定められています。
5) POWER ON/OFFスイッチを「ON」にした状態で、データ転送中の状態
6) 常温時に付属のソニーアルカリ単3形乾電池を使用した場合
7) POWER ON/OFFスイッチを「ON」にした状態で、Bluetooth通信可能状態
8) 低温時はアルカリ乾電池での使用はできません。ACパワーアダプターでご使用ください。
9) ACパワーアダプター（AC-PT1）は日本国内専用です。交流100 Vの電源でお使いください。

P-in m@ster、P-in Comp@ctについて、詳しくはNTTドコモのホームページ（http://www.nttdocomo.co.jp）をご覧ください。
Air H"、Card petitについて、詳しくはDDIポケットのホームページ（http://www.ddipocket.co.jp）をご覧ください。
ME5614CG2について、詳しくはオムロンのホームページ（http://www.omron.co.jp/ped-j/index.html）をご覧ください。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

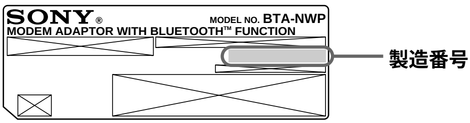
テクニカルインフォメーションセンター（本取扱説明書の裏表紙をご参照ください）にご相談ください。

部品の保有期間について

当社では、Bluetooth機能搭載モデムアダプターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型式：BTA-NWP
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日
- 製造番号



お問い合わせ窓口のご案内

■ **デジタルイメージングカスタマーサポート**

デジタルイメージング製品とパソコンとの接続方法や、Bluetooth機能搭載ネットワークハンディカムなどの最新サポート情報をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/support-di/

■ **テクニカルインフォメーションセンター**

ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、
および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

電話： 0564-62-4979
受付時間： **月～金曜日　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話される際に、本機の型名（BTA-NWP）をお知らせください。
より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

3 0 7 6 0 1 3 0 1

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan